

# ふくしまの復興と カーボンニュートラルを 海外へ伝える 学生を募集します!

渡航費  
無料\*

福島県は、ふくしまのカーボンニュートラル実現に向けた取組を海外へ発信し、海外で得た気づきや学びをたくさんの人に伝えてもらう、本県にゆかりのある学生を募集します。

## なにをするの?

**STEP 1** ふくしまの脱炭素社会実現に向けた姿や東日本大震災と原発事故からの復興の歩みを学びます。

**STEP 2** 国際的なイベントの場でふくしまの今の姿と取組を発信します。

**STEP 3** 海外で学んだことを県内で報告し、県民や企業のさらなるアクションへつなげます。

各参加者の個性やアイデアを活かした主体的な取組と発信を目指します。なお、すべての活動に専任のプログラムディレクターが伴走。研修やプレゼンテーションに関する相談にいつでも対応します。

英語力やコミュニケーション力を活かしたい方

プレゼンやチームビルディングの実践力を高めたい方

なによりもふくしまの「今」を伝えたいという熱意のある方

ぜひご応募ください!

## 日程・応募について

日程：令和8年5月15日(金)応募締切  
 “ 5月30日(土)面接審査(一次審査通過者のみ)  
 “ 6月上旬 派遣者決定  
 “ 7月上旬～9月 県内での事前研修(5回程度を想定)  
 “ 秋ごろ 海外派遣(トルコ・アンタルヤを予定)  
 “ 冬ごろ 県内での報告会(2回程度を想定)  
 令和9年2月以降 学生アンバサダー意見交換会  
 その他、適宜打ち合わせを実施します。詳細は公募要領をご確認ください。

費用：海外への渡航費や事前研修にかかる交通費などは県が負担します。最寄駅までの交通費、プレゼンテーション制作にかかる機器等、パスポート等、各自ご用意いただくものもあります。詳細は公募要領をご確認ください。

応募資格：県内に所在する大学・大学院・高等専門学校(本科1～3年生を除く)に在籍する学生、又は、本県出身で県外に所在する大学・大学院・高等専門学校(本科1～3年生を除く)に在籍する学生で、その他公募要領に記載された要件をすべて満たす方。

応募方法：以下のWEBページにアクセスし、公募要領を熟読したうえで専用の書類に必要事項を記載し提出してください。  
<https://www.pref.fukushima.lg.jp/site/ontai/r8cnhaken.html>

応募締切：令和8年5月15日(金)17時まで



# 令和7年度 活動の様子

● R7年6月・派遣者決定

● R7年7月・第1回研修  
● 第2回研修

専門機関による講義とコミュニティ福島での研修を通じ、福島の現状と課題を学びました。



● R7年8月・第3回研修  
● 第4回研修

浜通り・会津エリアの現地視察で、復興と再エネが融合した取組の現場を体感しました。



原子力に依存しない  
エネルギーの現場を視察!

● R7年9月・第5回研修  
● 出発式

これまでの学びと3人の想いを原稿やスライドに紡ぎ、英語でのプレゼンを猛練習!



20分間の英語プレゼン、熱意を伝えきりました

● R7年10月・第6回研修

● R7年10月13日(月)～19日(日)  
**日本・マレーシア環境ウィーク&現地視察**

国際的な環境イベントでのプレゼン登壇やブース運営を通じて、福島の復興とカーボンニュートラル実現に向けた取り組みを世界へ発信しました。

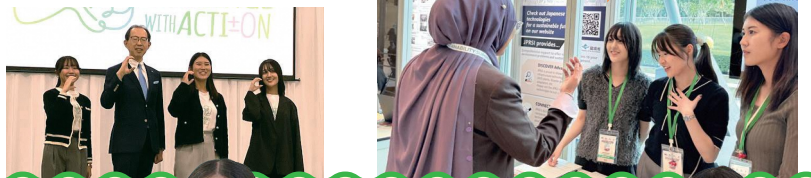


● R7年11月・ふくしまカーボンニュートラル実現会議

● R7年12月・県外環境イベントへ参加

● R8年2月・修了式&同世代活動報告会

ブースでも多国籍の方々とは英語で交流!  
福島の今を直接発信できました



## YURI

福島県出身。  
研修時は大学4年生。  
春から県内企業で地域活性化に取り組んでいます。



カーボンニュートラルへの理解を深めるだけでなく、大きなステージで自分の想いを発信した経験が、大きな成長につながりました。人前で話すことへの不安はあると思いますが、メンバーやコーチと一緒に準備を進めながら少しずつ形にしていけるので大丈夫です。挑戦してみたいという気持ちがあれば、ぜひ一歩踏み出してください。

## AYANO

愛知県出身。  
研修時は大学4年生。  
水環境分野の研究のため大学院に進学しました。



県外出身の私が、福島の復興と環境先進の取組を自分ごととして考えられるようになったことが一番の収穫です。英語が苦手でも、メンタルが弱くても大丈夫。丁寧な伴走とサポートがあるので、リハーサルで泣きそうになっても最後には最高の発表ができました。自分のやりたい気持ちをぶつければ、きっとそれ以上のものが返ってきます。

## MIKU

栃木県出身。  
研修時は大学4年生。  
自然と人間活動の調和を目指し大学院に進学しました。



現地での体験だけで終わらず、リフレクションとプレゼン制作を通して「何を感じ、何を伝えたいか」を深く考えられたことで、学びが自分の中に残り続ける経験になりました。不安に感じることもあると思いますが、自分の努力次第で必ず乗り越えられます。不安よりも挑戦したい気持ちを信じて飛び込んでみてください。



SNS等でも  
昨年度の活動を  
紹介しています

問い合わせ先

福島県生活環境部環境共生課  
【所在地】〒960-8670 福島県福島市杉妻町2番16号  
【TEL】024-521-7813  
【E-mail】zero\_carbon@pref.fukushima.lg.jp

公募要領・  
応募は  
こちらから

